



熊本むさしワイズメンズクラブ会報

15~16 むさしクラブ会長主題

リーダーシップのバトンをつなぐ
Hand to hand, the baton of leadership.

Chartered 1997

7

Bulletin No. 217
Jul. 2015

- ◎国際会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)
主題：(信念のあるミッション) "Mission with Faith"
スローガン：恵みを数えよう "Count Your Blessing"
 - ◎アジア地域会長 Edward K.W. Ong (シンガポール)
主題：愛をもって奉仕をしよう "Through Love Serve"
スローガン：まず自分から始めよう "Let it Begin with Me."
 - ◎西日本区理事 遠藤通寛 (大阪泉北)
主題：あなたならできる！きっとできる "You can do it! Yes, you can!"
副題：生きる しなやかに さわやかに "Live flexibly and refreshingly"
 - ◎九州部部长 五嶋義行 (阿蘇)
主題：九州から輝くワイズダム
- 事務局 熊本むさしYMCA 〒861-1112 熊本県合志市幾久富 1899-1399 TEL096-248-6334 Fax096-248-6354

7月キックオフ例会のご案内

日時 7月2日(木) PM7:00~9:00
会場 ホテル日航熊本
司会 来海ワイズ

- | | | |
|----|-----------------------------------|-------|
| 1 | 開会宣言・点鐘 | 米村会長 |
| 2 | ワイズソング「いざたて」 | 全員 |
| 3 | 会長挨拶 | 米村会長 |
| 4 | ハッピーバースデー・アニバーサリー | |
| 5 | 食前感謝 | 吉井ワイズ |
| 6 | 食事 | |
| 7 | 卓話：湯之上聡氏
(熊本バスケットボール株式会社代表取締役) | |
| 8 | アピールタイム 中村牧師(著書アピール) | |
| 9 | なごりはつきねど | 全員 |
| 10 | 閉会点鐘 | 米村会長 |

《 今月の聖句 》

ヨシュアに命じ、彼をカづけ、彼を励ませ。彼はこの民の先に立って渡って行き、あなたの見るあの地を彼らに受け継がせるであろう。

申命記 3章 28節

「モーセの十戒」で知られているモーセは、神様のお告げに従ってエジプトの圧政の中にあつた神の民を約束の地へ導く荒野の旅を 40 年にも渡って指揮してきました。そして約束の地に入る直前、神様はモーセに「あなたは約束の地に入ることはできない」と告げられます。しかしモーセはもともとの命令とその言葉に忠実に従います。約束の地に民を導かなければならない。そして自分はその地に入ることはできない。そこでモーセは次世代のリーダーであるヨシュアをカづけ、励ました。モーセは最後まで神様の命令に従い、そしてヨシュアが民を率いてヨルダン川を渡り約束の地に入りました。

米村謙一

【ハッピーバースデー】

7/10 土井智恵子 7/17 佐々木誠市
7/29 秋吉 睦 7/31 佐々木佳世子

【ハッピーアニバーサリー】

田淵利文・留美

ワイズソング いざたて

- | | | |
|---|------------|--------------|
| 1 | いざたて心あつくし | 手を挙げ誓いあらたに |
| | われらのモットー守る | ふさわしその名ワイズメン |
| | 絶えせずめあて望み | この身を捧げ尽くさん |
| 2 | 歌えば心ひとつに | ともがきひろがりゆきて |
| | 遠きも近きも皆 | 捧げて立つやワイズメン |
| | 栄えと誉れ豊か | まことは胸にあふれん |

6月例会の記録(定例会・企画例会)

出席総数	17名	ゲスト	0名
在籍会員	21名	ビジター	0名
(定例会)	16名	メネット	4名
(企画例会)	7名	コメント	0名
(メキップ)	1名	定例会出席率	80.9%

なごりはつきねど

なごりはつきねど つどいははてぬ
今日一日の幸 静かに思う



今期会長の職を仰せつかりました米村謙一です。一年間、どうぞよろしくお願い致します。昨年、我が家はとんでもなく困難な道を歩みました。ワイズを辞めなければならぬかなとも悩みました。しかし、どん底の祈りの中で神様は様々な社会的な関わりを遠ざけられましたが、YMCA との関わりを断つことを望まれませんでした。むさしクラブの先輩方に報告・相談したところ、大変な状況をご理解した上でこの会長期をお支えくださる旨の励ましを頂きました。皆さんの温情に応えるためにもしっかり一年間の勤めを果たしたいと思います。

さて、そんな私の会長主題は『リーダーシップのバトンをつなぐ』です。最近のむさしクラブは「活発なクラブ」とは言えないかもしれません。しかし、他クラブとの安易な比較は無意味かと思えます。私たちの一人一人がこのクラブでどう楽しみ、どんな人々と出会い、どんな価値観を得て残すかということが大切だと思います。ですのでクラブの維持のための無理な会員増強よりも、退会防止やこれからの新しい世代を掘り起こし、立て上げていくことに注力したいと思えます。

そして『今月の聖句』の聖書箇所につながります。私は皆さんから托されたこの会長期を適切なリーダーシップを発揮して勤めようと思えます。しかし、重点は次の世代（次期会長期・次々期会長期）のために来海さんや佐々木さん、そしてまだ見ぬ会長候補者をカづけ、励まし、彼らに継ぐことです。会長職の負担軽減と、一人ひとりの居場所（役割）作りに集中したいと思えます。

6月定例会報告

南部浩美

今月は、吉岡会長の最後の定例会となりました。

会場もラストステージに用意されたかのように、開放感のある素敵な会場でした。しかしこの日は、用意してもらったパソコン、スクリーン等が使えなく、大宅さんに2度も中央YMCAに足を運んでもらう事になりました。定例会も半ばを過ぎた頃到着され、佐々木ワイズもお手伝いされ、パソコン接続が上手く行きました！！司会の米村ワイズも上手く段取りを付けて下さり、皆の連携が素晴らしいな～と感じました。おかげで吉岡会長の1年間のまとめDVDも無事に見ることが出来ました。年間の流れを写真付きでまとめてあり、パソコン苦手な私は吉岡会長のパソコンの技にも驚いてしまいました！！

YMCAの活動をまとめた、東日本大震災の津波のDVDも見せていただき、改めて自然の怖さ、被害の大きさ、人の暖かさを感じる事が出来ました。いつ何があっても、人のために手を差し伸べてあげられる強さと持続性を持ちたいなと感じました。

定例会の始めはどうなることかと思いましたが、最後には、次期会長の米村ワイズより吉岡会長へ花束のプレゼントが送られ、すてきな引継式になったなあ～と皆の顔には笑みがこぼれました。

企画例会報告

南部浩美

【報告事項】

- 1、6月定例会報告
- 2、6/13 14日 西日本大会報告
- 3、2014～15年 会計報告
- 4、YMCA報告
- 5、会長方針発表
- 6、その他（素麺ファンD）

【協議事項】

- 1、7月2日 キックオフ例会
- 2、第1回九州部評議会
- 3、九州部合同キックオフ例会
- 4、プリテンについて
- 5、《第1回熊本連絡会議》及び《YとY'sの交流懇談会》との合同会議



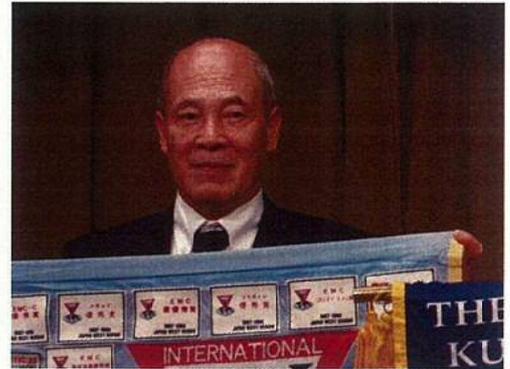
13日、ワイズメンズクラブ西日本区大会第一日目。昨夜遅くホテルに入った。朝は早くから目覚め5時半からホテルの周囲を走った。途中曲がり角を間違え8kmの予定が6km+ α になった。役員会、代議員会での役目を果たし、弁当を持ってホテルの部屋に戻った。丁度なでしこ対カメルーン戦の前半がもうすぐ終わるところだった。2点の得点シーンを録画で後半のカメルーンの猛反撃を生放送で観ることができた。大会の最初は各クラブ会長のバナーセレモニー。吉岡会長も堂々と入場した。九州を始め全国各地からの参加者とは旧交を温め新しい友人を増やすことができた。

懇親会の前にはクリスチャニティー委員会のメンバーと記念写真を写すことができたが、事情で3名が欠けた。出し物であった落語家の桂吉弥さんの小話は、患者さんとの会話の中でも生かせそうだった。残念なことに写真撮影は禁止だったが、もう一つのカントリーウエスタンもなかなか上手だった。テーブルは所属クラブと宮崎からの参加者と同じテーブルだったので、沢山話ができて良かった。ワイズの大会は、同窓会のような雰囲気になる。

14日、大会2日目は礼拝から始まる。一木先生のメッセージは、困難な状況にある隣人のもとに出向いて寄り添うことの大切さ。献金感謝を担当したが、危うくフライング（献金を集めている途中で祈りを始める）しそうになった。

九州部は理事特別賞を受賞。亀浦部長のリーダーシップと、部の団結が実を結んだ。一年間にわたり西日本区をまとめ前進させてくれた松本理事キャビネットから、遠藤理事キャビネットにリーダーが交代する。ワイズメンズクラブの不文律は、「個人が役職を求めるのではなく、役職が人を求める」。重責から解放？される松本理事が大変爽やかに見えた。

写真バナーセレモニーの吉岡会長、むさしクラブからの参加者、松本理事夫妻と吉田大会実行委員長



むさしクラブはYサ・ユース献金優秀クラブ賞とメネット事業優秀賞を受賞しました。ご協力ありがとうございました。





むさしマルシェ

吉岡光憲

6月21日、今日は第一回むさしマルシェが開催されるということで妻と一緒に掛けてみた。午前10時開店ということでもう既に藤本さんや来海さんが張り切って販売していた。一番の目当ては藤本さんのウイナーだが買うのは後回し、隣の花屋さん、コーヒー屋さん、アグリ農場の八百屋さん、アクセサリー屋さん、駐車場への通路には古着屋さん、アイスクリーム屋さん、玄関を入ると小物の店、野の島のクッキーの店などが出店していた。アグリ農場では大きなスイカが1000円というので得た気分で購入、コーヒーも仕事場用にと2個買い、花屋さんではバラとコリウスの寄せ植えを買った、初めてのお客だからと100円負けてくれた。少しずつお客が増え始めたころお目当てのウイナーのところに行ったら少々混んでいた。少し待って車の中からがちがちに凍っていたウイナーととんかつ肉を分けてもらった。これから時々開いてもらおうと思うと楽しみです。



むさしYMCA通信

今年は例年よりも雨の多い年になりました。そのためかむさしYMCAの玄関横のあじさいの紫色が濃い気がします。このあじさいはかつてのワイズメンの方から頂戴したものと伺っています。昨年プランターを壊すほど成長した「ランタナ」の黄色い花とのコントラストが目を楽しませてくれています。

むさしYMCA 大宅 登貴子



むさしマルシェ6月21日(日)開催しました!

6月21日(日)むさしYMCAでは地域の企業、グループ、皆様にむさしYMCAにお越しいただくことを目的とした「むさしマルシェ」を実施いたしました。梅雨の晴れ間の中、ソーセージやクレープ、アクセサリー、手作り雑貨、野菜など12の小さなお店がオープンしました。父の日のプール開放に参加されたご家族をはじめ近隣の方々など多くの皆様にお越しいただきました。第2回も企画中です。どうぞよろしくお願いいたします。



父の日プレゼント「プール無料開放」6月21日(日)

父の日のプレゼント企画として、ファミリー対象のプール無料開放を行いました。今年はなんと100名を超すご家族が参加されました。YMCAは始めてという方もおられ、多くの皆様に水に親しんでいただけました。「むさしマルシェ」とのコラボプログラムで、ご家族でプールで遊んだ後は、お父さんはおいしいお肉やノンアルコールビール、お母さんはお野菜や可愛い雑貨のお買い物、お友達はスイーツやくじ引きなど、日曜日の午前中むさしYMCAで楽しんでいただけました。



サマーキャンプ&夏休み短期プログラム好評受付中!

自然の中出、仲間との共同生活・グループ活動を通して、自分自身の可能性に気づき、生きる力を育む14のキャンプ、運動の楽しさを感じながら、できた!の喜びを自信につなげる、夏休み短期スポーツスクール(スイミング、体操、サッカー)好評受付中です。詳しくは、熊本YMCAのホームページをご覧ください。

